

令和7年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練
訓練施設等設置・撤去等業務委託仕様書

令和7年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練大分県実行委員会

令和7年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 訓練施設等設置・撤去等委託業務仕様書

1 委託業務の名称

令和7年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練訓練施設等設置・撤去等委託業務

2 業務を委託する期間

契約締結の日から令和7年11月28日（金）まで

3 訓練実施日

令和7年11月8日（土）～9日（日）

4 訓練実施場所

- ・大分スポーツ公園（大分市横尾1351）
- ・大野砕石有限会社戸次工場（大分市上戸次4383-2）
- ・ENEOS株式会社大分製油所（大分市大字一の洲1番地1）
- ・津久見港（津久見市中央町）

5 業務内容等

- （1）訓練に係る看板の設置及び撤去
- （2）訓練会場（訓練関係施設とその周辺）設営及び撤去
- （3）訓練で使用する物品の調達 等

※各業務内容の細目は別添資料を参照のこと。

6 成果物

訓練施設等の設置作業の前後及び、撤去作業の前後の写真（媒体任意）

7 その他

- （1）会場設営に係る物品の数量等については、契約後、変更の可能性はある。
- （2）作業スケジュールについては、契約後、発注者との打ち合わせにより決定する。
- （3）その他必要事項については、発注者との協議のうえ決定する。

土砂崩れによる斜面救出訓練仕様書

令和7年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

サブ会場

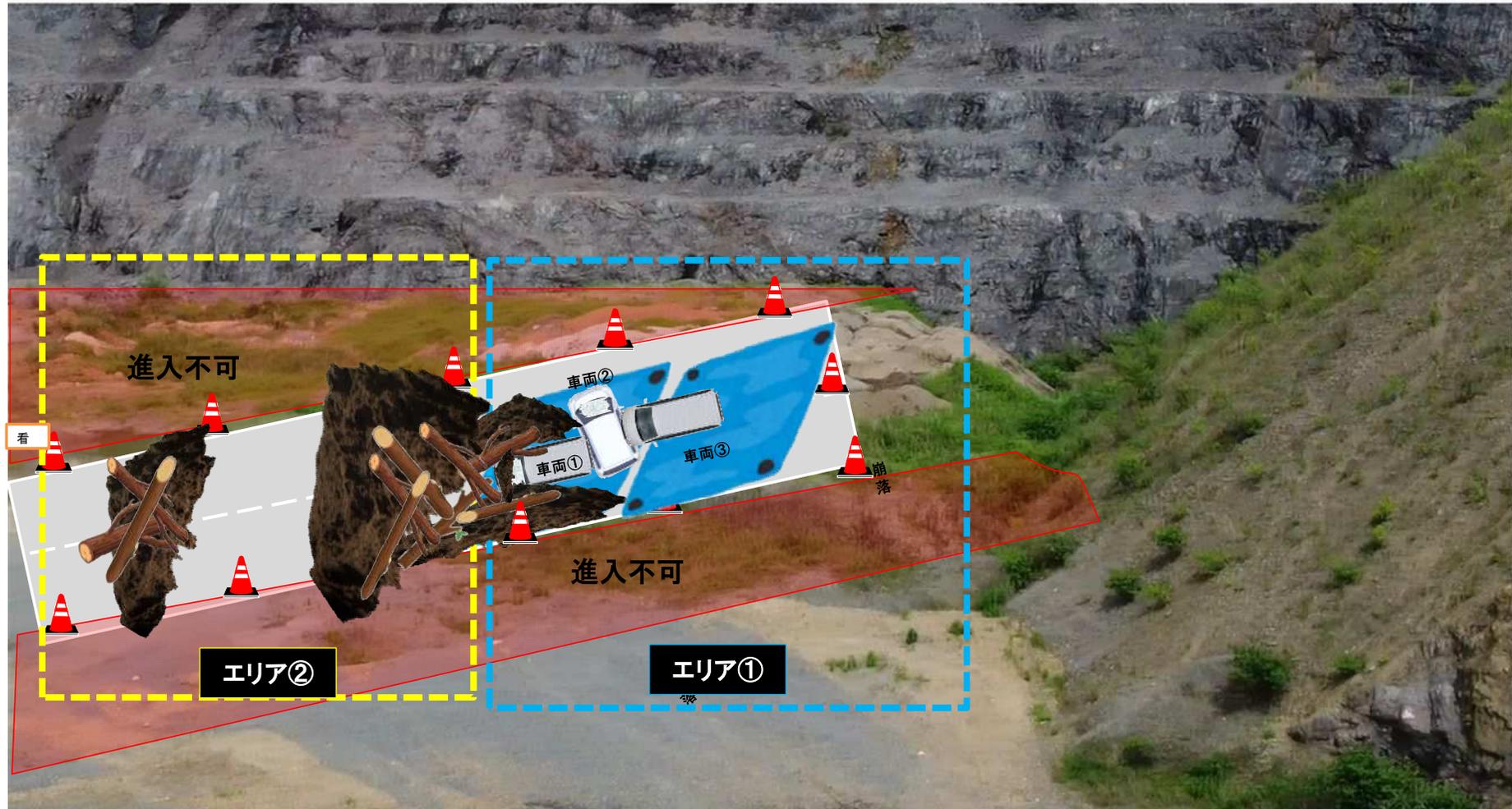
訓練施設概要

訓練名称	土砂崩れによる斜面救出訓練(車両多重事故含む)	
提出本部	佐伯市消防本部	
訓練施設		
材 料	訓練資器材参照(普通乗用車ミニバン3列シート 3台、雑木、土砂等)	
概 要	<p>【訓練エリア1 事故車両①】 シフトはドライブ又は、4速～5速ギア、サイドブレーキオフ 仕様書 ④図面2エリア①全体図、⑤図面3エリア①詳細図車両①・訓練計画書3訓練イメージ図、6①車両内部イメージ図①参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両フロントから土砂崩れに衝突させた状態にする。土砂を被せ車内に土砂を流入させる。 ・フロントガラスを割り車内側に落とし込んだ状態にし土砂を流入させる。(隊員進入可) ・車両両側面は土砂、倒木により開放不可の状態。土砂の量等は現地にて調整。(隊員進入不可) ・車両後部は事故車両②により追突されハッチが開かない状態にし車両②を接しておく。(隊員進入不可) ・車両上部に少量の土砂を被せるが、活動隊の資機材により切断等で開放可能な状態にしておく。 ・車外に要救ダミー人形1体(A-1)土砂埋没、車内に要救ダミー人形4体を配置する。現地にて調整 	
	<p>【訓練エリア1 事故車両②】 シフトはドライブ又は、4速～5速ギア、サイドブレーキオフ 仕様書 ④図面2エリア①全体図、⑤図面3エリア①詳細図車両②・訓練計画書3訓練イメージ図、6②車両内部イメージ図②参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロントガラスにひび割れ・リアガラスは破損させておく。破損状況は現地にて調整(隊員進入可) ・車両左側面が事故車両①に追突しドアが開かないように配置する。(隊員進入不可) ・車両右側面は事故車両③が正面から追突しドアが開かないように配置する。(隊員進入不可) ・車外に要救ダミー人形1体(B-1)、車内に要救ダミー人形4体を配置する。現地にて調整 	
	<p>【訓練エリア1 事故車両③】 シフトはドライブ又は、4速～5速ギア、サイドブレーキオフ 仕様書 ④図面2エリア①全体図、⑤図面3エリア①詳細図車両③・訓練計画書3訓練イメージ図、6③車両内部イメージ図③参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故車両②右側面にフロントから追突。 ・車両の破損は軽微なもの。 ・車内に要救ダミー人形5体を配置する。現地にて調整 	
	<p>※3台の車両の下に10m×10m×2枚のブルーシートを並べて敷く ※破壊したガラス等を含んだ土砂は指定した場所に集積させる。</p>	
	<p>【訓練エリア2一①】 仕様書 ⑨土砂A、⑩図面5エリア②詳細図(進出困難箇所)の作成) 土砂A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8mの道幅いっぱい、高さ1m、奥行き約5m、上部幅2mの土砂を盛る。 	
	<p>【訓練エリア2一②】 仕様書 ⑨土砂B、⑩図面5エリア②詳細図(斜面救出箇所)の作成) 土砂B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8mの道幅いっぱい、高さ4m、奥行き約10～13m、上部幅2mの土砂を盛る。 ・斜度については、進入側約45°、事故車両側約30°とする。 ・斜面の土砂はブルーシートの上に被さらない様に盛る。 	
	<p>【エリア分け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーン、標識ロープを用いてエリア分けを行う。 	
	<p>【設営等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板設置(訓練地位置図及び看板設置位置図参照)暴風や雨に耐えうる仕様とし、設置及び撤去まで含むもの。 ・廃車車両のオイルや燃料は、移動するために必要な最小限の量とし、訓練場所に配置後、バッテリーからターミナルを外し、絶縁処置を施すこと。 ・この仕様書は、訓練施設に係る資器材等の運搬、設置(製作を含む)、撤去、原状回復までを含むものとする。 	
	要救助者	ダミー人形15体使用。
	備 考	※進入経路入口から土砂Aまでの距離、土砂Aから土砂Bの距離、車両設定位置については現地打合せにて調整。
※土砂A・Bの土砂ボリューム・木材設定及び車両内に流入させる土砂については、現地打ち合わせにて調整。		
※施工時疑義がある場合、現地打ち合わせにて調整。		

図面1 全体図(イメージ図1)



図面1 全体図(イメージ図2)



図面2 エリア① 全体図(イメージ図)



図面3 エリア① 車両内部イメージ図(車両①)

【車両上面から見た図】

アプローチ可能箇所は上面及びフロントガラス部のみ。

車両②

運転手



A-2 シートベルトあり 座位



A-3 シートベルトあり 座位



A-5

折り重なっている

ダミー4名 車外ダミー1名(土砂埋没)

※フロントガラス大破。車両内部に少量の土砂流入あり

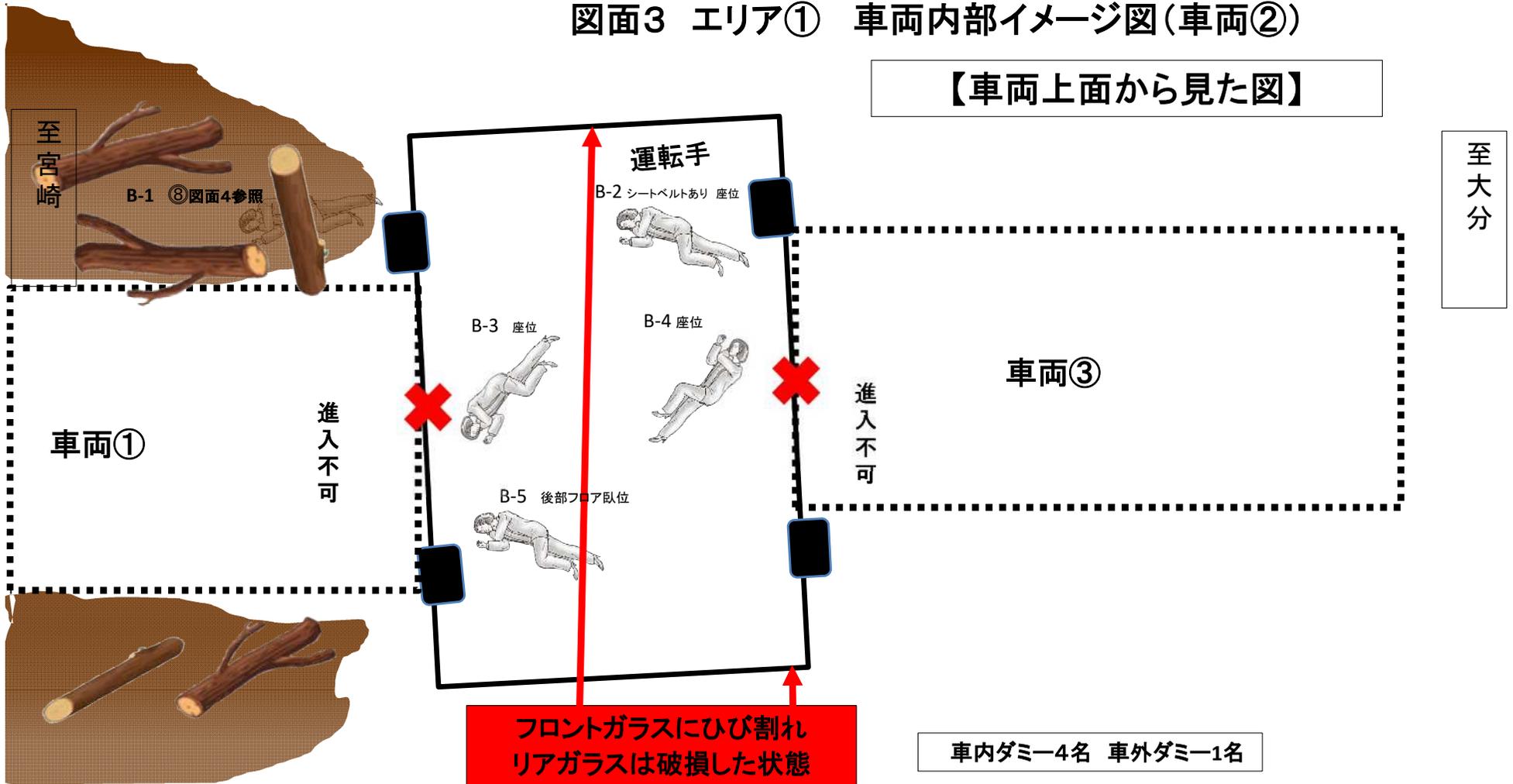
至宮崎

至大分

A-1 ③図面4参照

図面3 エリア① 車両内部イメージ図(車両②)

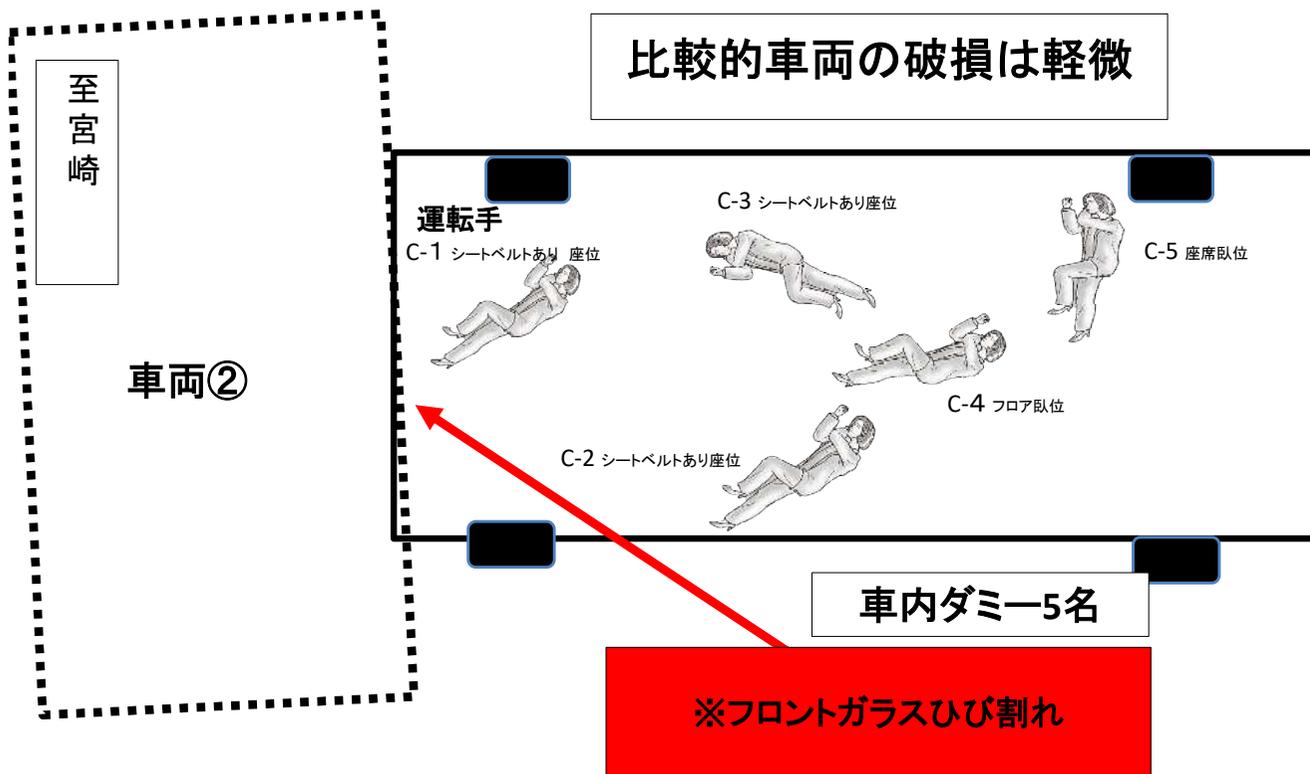
【車両上面から見た図】



図面3 エリア① 車両内部イメージ図(車両③)

【車両上面から見た図】

比較的車両の破損は軽微



至大分

図面4 車外要救助者詳細図

<< ダミー A-1 >>

(外傷性窒息)

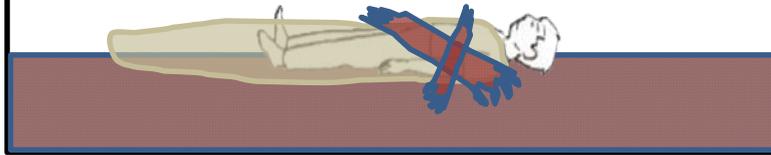
仰臥位。土砂と倒木が胸部から足部までにおよぶ。

頭部のみ露出。

倒木は隊員2名の徒手にて除去可能。

土砂及び倒木を人力で除去し救出可。

丸太:長さ約200cm、直径約20cm ×2本



<< ダミー B-1 >>

(頭部外傷)

半座位。土砂と倒木の塊に寄りかかるような状態。。

頭部は倒木に隠れているが挟まれはなし。

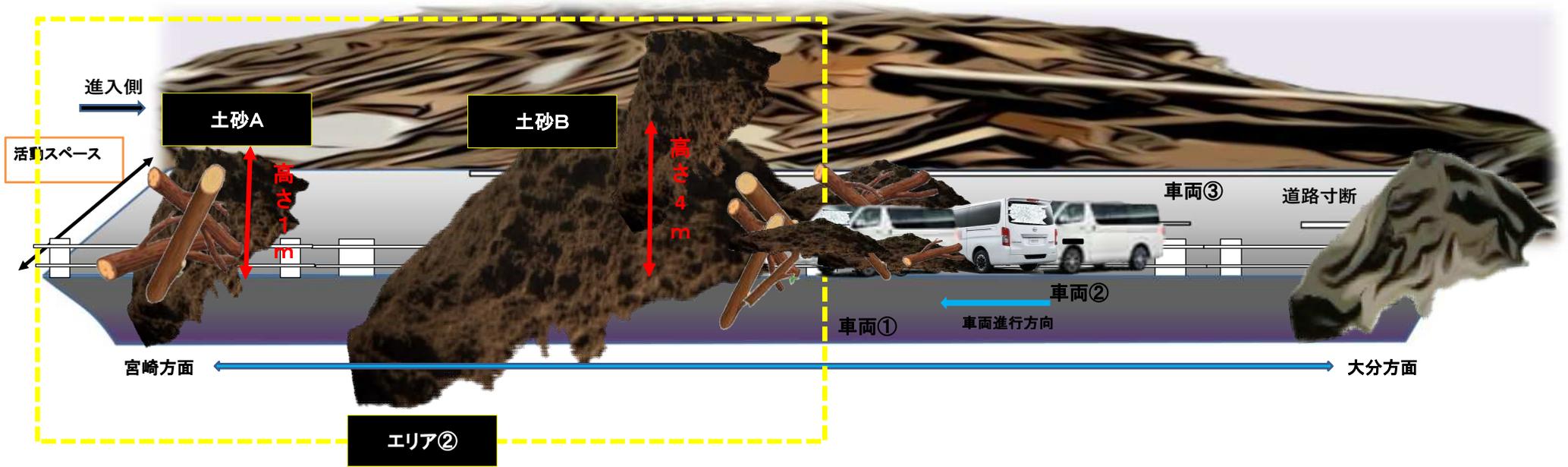
体全体的に少量の土砂が覆いかぶさっている。

丸太:大きさと本数は指定なし。

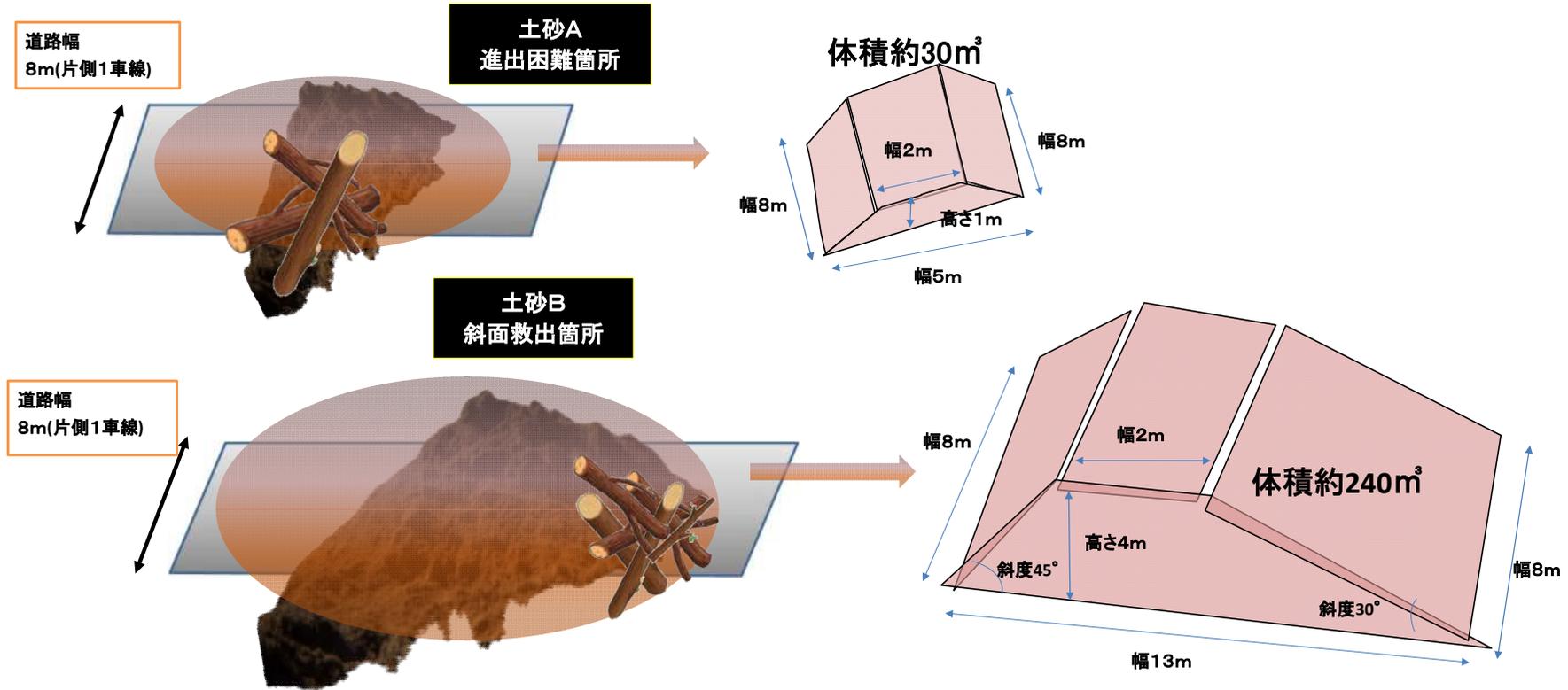
一見して発見しにくい状態。



図面5 エリア②全体図



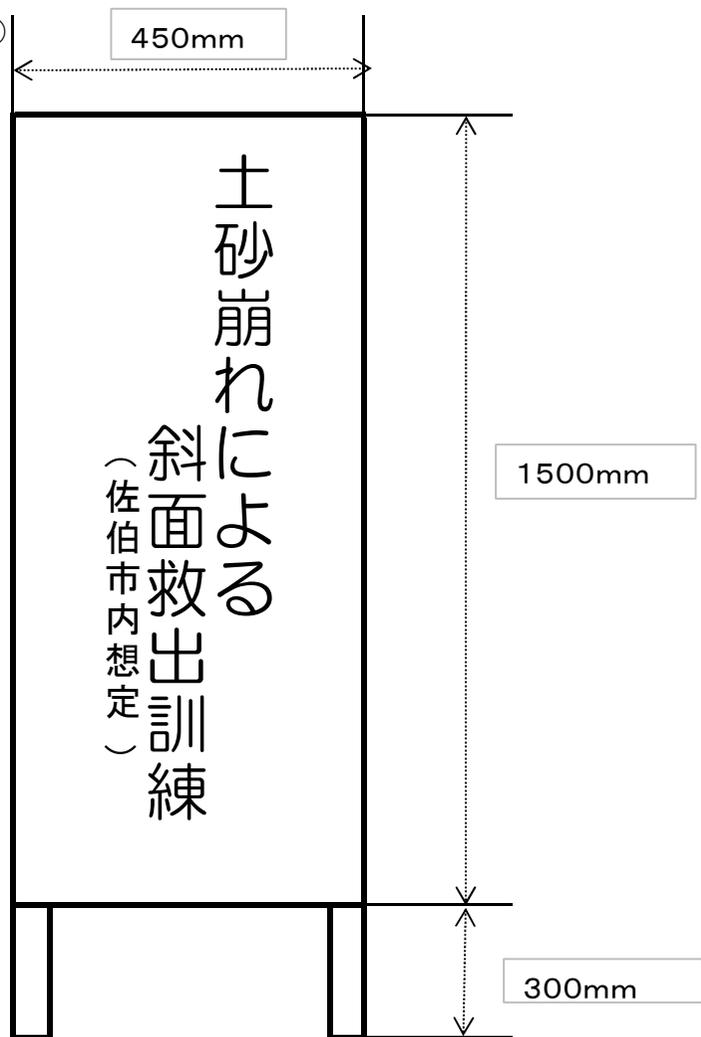
図面5 エリア②詳細図



⑫訓練地位置図及び看板設置位置図



訓練用
自立式看板①



訓練用
自立式看板②



訓練資器材一覧

品名	サイズ	数量	単位	備考
【普通自動車ミニバン】	概ね、全長4,5m×全幅1,8m×全高1,9m	3	台	3列シート
【救助想定必要資器材】				
倒木用材木(雑木)	丸太(大)直径20cm×長さ3m以上	10	本	委託者等保有分
土砂設置	土砂A 約30m ³ 土砂B 約240m ³	270	m ³	現地調達
ブルーシート	10m×10m	2	枚	車両の下に敷く
ダミー人形	ホース型13体 コウタロー型2体	15	体	委託者等保有分
【エリア分け用資器材】				
カラーコーン		50	個	
コーンベッド		50	個	
コーンバー		50	本	
標識ロープ	警戒ロープ50m巻	3	巻	
鉄製杭		20	本	委託者等保有分
看板(自立型)	450×1800	2	個	訓練会場・仮設病院

水没車両救出訓練

令和7年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

サテライト会場（津久見市）

訓練施設概要

訓練名称	①水没車両救出訓練
提出本部	津久見市消防本部
訓練施設	
材料	訓練資器材参照(碎石15m ³ 、単管バリケード、車両5台)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道路啓開用の土砂を想定し15m³の碎石(RC-40)を設定する。その上部には、角材等を配置し切断等を行わない。ショベルやスコップ等でブルーシート上からはみ出さないように土砂を啓開してもらうために、スペースを横に開ける。 ・10mの単管バリケードを4か所設置し、土砂の前後に配置、道路と見立てその中を走行する。 ・水没車両の岸壁に、墜落防止として長さ30mの単管バリケードを設置する。 ・オイルフェンスは、津久見市消防本部が準備し、設置、運搬撤去に関しては、受託者が行うこと。また訓練前日に設定し、その後車両を設定する。 ・車両を海上に沈める際は、設定したオイルフェンス外へのオイル流出を防ぐこと。 ・エンジンやオイル類、タイヤを外した車両5台を海上に沈める。※オイル類が一切海上に流出しないよう沈める前に清掃する。またガラス窓は救出中に破損する恐れがあるためすべて外しておく。海上に浮きそうな部品等は外しまたは穴を開けておくこと。車両のタイヤを外すことからクレーン付きの車両で運搬すること。 ・水没車両は、半没4台、全没1台とする。 ・水没車両の中に訓練用人形を配置し、また車両が浮かないように消防署で準備したおもりを数個車両の中に入れ、その後玉掛けを行いクレーンで吊り上げる。 ・車両をクレーンで吊り上げ海上へ設置する際は、入水している職員により誘導を行う。 ・車両の入水設置が終わったら、動かないように入水している消防職員が車両をアンカー等で固定する。 ・訓練当日、オイルの流出があればオイル除去シートで吸着、その後オイルフェンスは海上からのアクセスを考慮し、開放し端でまとめ固定する。 ・流木をイメージした木材にアンカーを打ち、ロープとおもりを付け海上へ投入する。(消防職員が準備) ・水没車両の2台車上には当日、生体で要救助者を配置する。 ・部隊運用訓練が終了後、その日にオイルフェンスと車両を引揚げ撤収を行う。 ・訓練施設に係る資器材等の運搬、設置(製作を含む)、撤去、原状回復までを含むものとする。
要救助者	

全体図

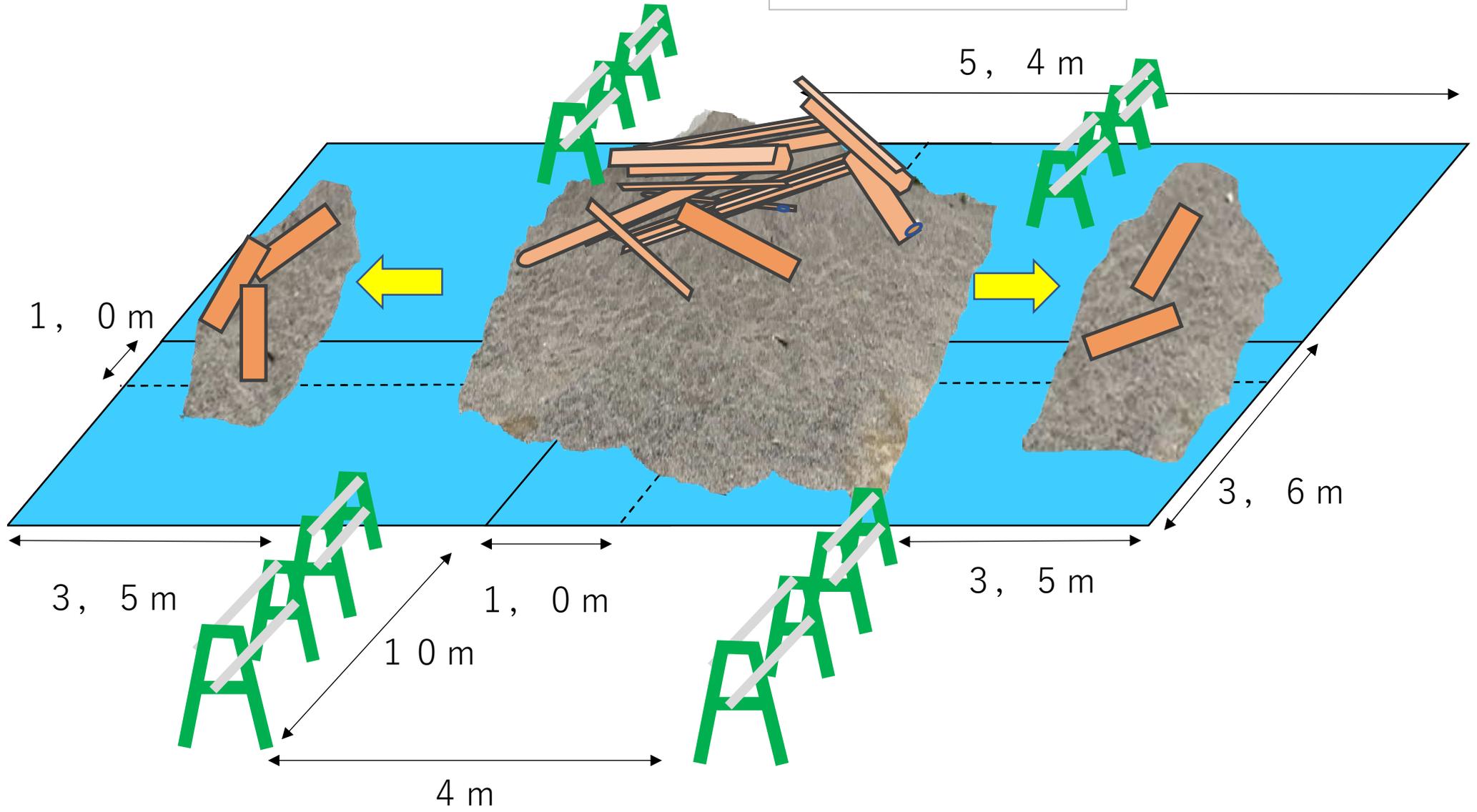


訓練施設資機材等配置図

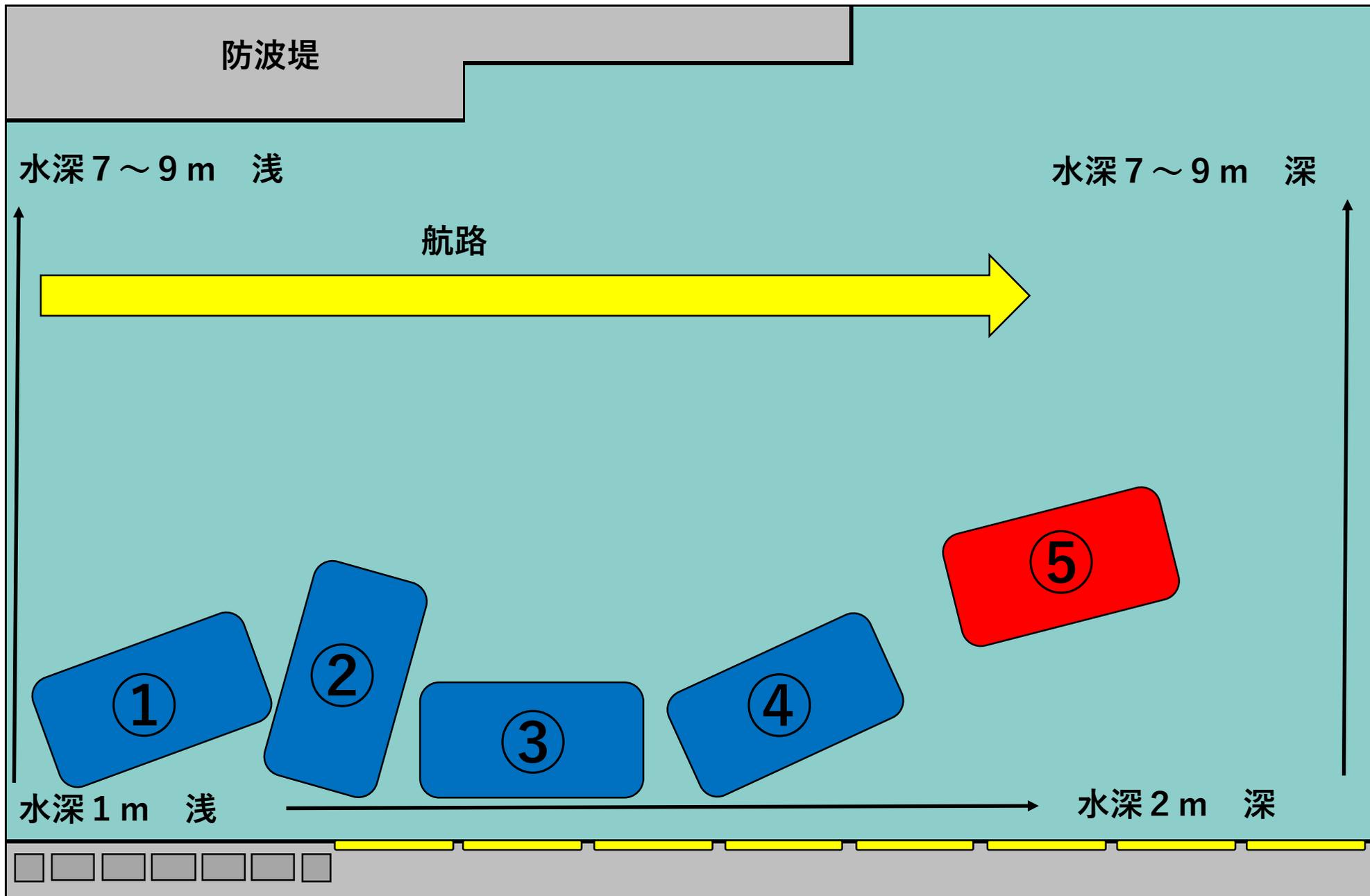


道路啓開図

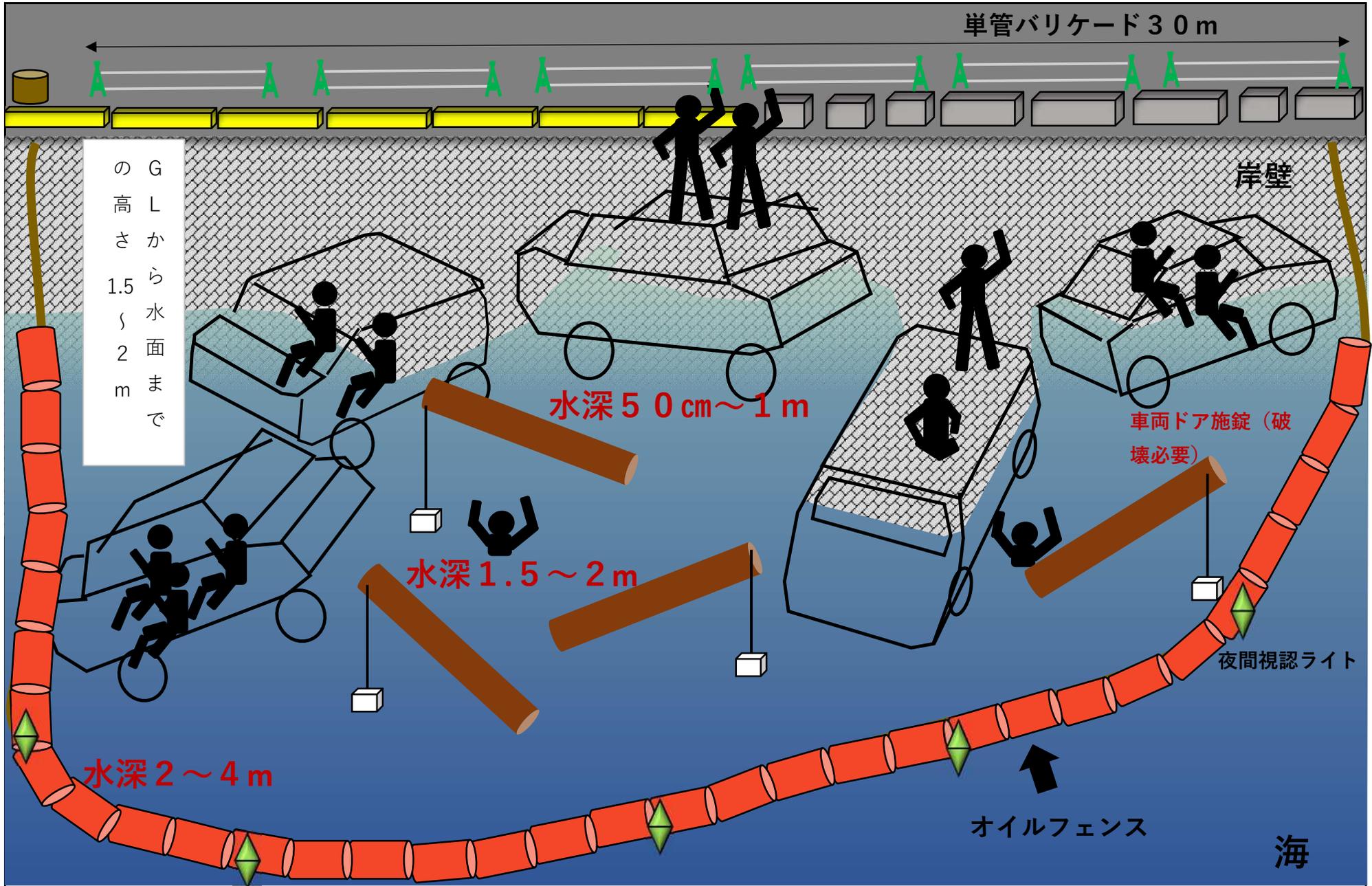
土砂
横 3 m × 奥行き 5 m × 高さ 1 m



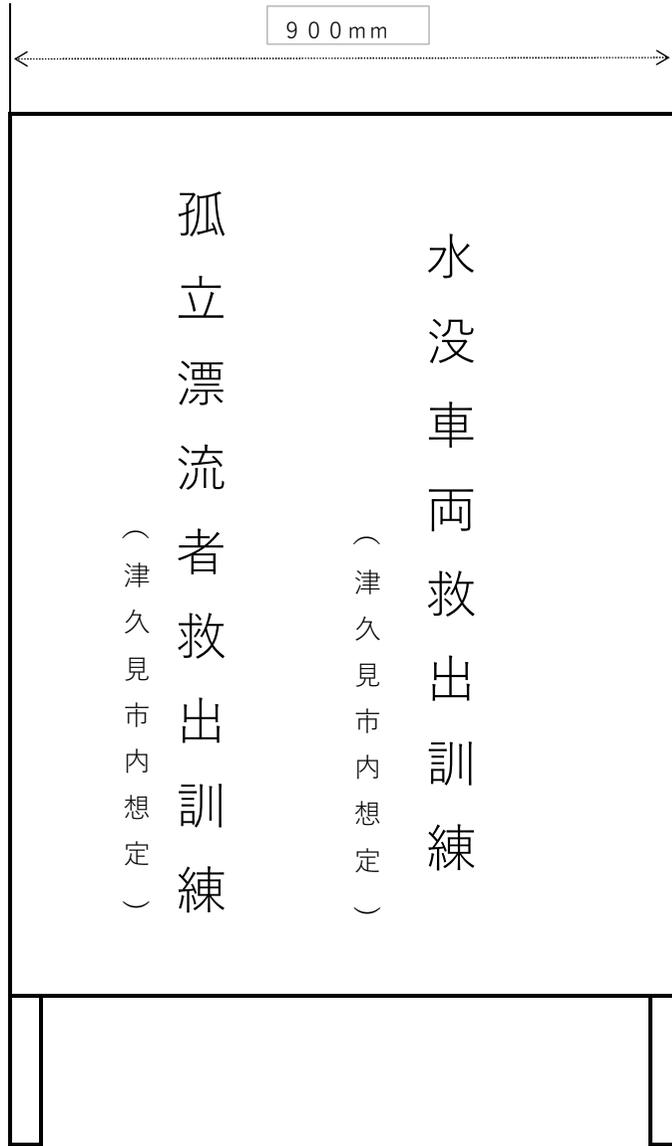
水没車両配置図



水没車両詳細図



訓練用自立式看板①



訓練用自立式看板②



	No.	品名	サイズ	数量	単位	備考
道路啓開	2	土砂上の木材		10~20	本	委託者等保有分
	3	ブルーシート	3.6m×5.4m※#2000	4	枚	
	4	単管バリケード		16	個	
	5	単管パイプ	5 m	16	本	
水没車両前岸壁	6	単管バリケード		12	個	
	7	単管パイプ	5 m	12	本	
	8	車両		5	台	海洋汚染しないもの（エンジン、オイル関係、ガラス排除、タイヤ排除）
	9	訓練用人形		9	体	委託者等保有分
	10	夜間視認ライト		5	個	オイルフェンスに装着するライト、安全防止のため装着（防水仕様で12時間以上点灯するもの）
	11	浮いている木材等		4~5	本	委託者等保有分 木材に打ち込むアンカー及びロープ、おもり4~5個
	12	自立式看板	900×1800	1	枚	水没車両救出訓練及び孤立漂流者救出訓練
	13	自立式看板	450×1800	1	枚	仮設病院